

4番の歌 「エホバは私の牧者」

エホバから愛されていることを信じてください

「私は.....揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた」。[エレミヤ 31:3](#) 遠くからエホバが私に現れて言った。 「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。 そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた(*あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた)のである。」

ポイント：エホバから愛されていると信じることが大切なのはどうしてか、どうすれば信じられるかを考えます。

1. あなたがエホバに献身したいと思ったのはどうしてですか。 (写真も参照。)

エホバに献身した時のことを覚えていますか。エホバのことをよく知り、深く愛するようになつて、エホバのために生きていくことを約束しました。心、知力、力、自分の全てを尽くしてエホバを愛し続けることも約束しました。 ([マル 12:30](#) あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ。) その時からエホバへの愛はどんどん強くなってきたはずです。もし「エホバを本当に愛していますか」と尋ねられたら、ためらわずにこう答えることでしょう。「もちろんです。ほかのどんなものよりも、誰よりも愛しています」。



献身しバプテスマを受けた時の気持ちを覚えていますか。

(1節を参照。)

2-3. エホバは私たちにどんなことを信じてほしいと思っていますか。この記事ではどんなことを考えますか。 ([エレミヤ 31:3](#))

2 でも、こう聞かれたらどうでしょう。「エホバはあなたのことを愛していると思いますか」。少し答えに詰まってしまうかもしれません。自分はエホバから愛されるような人間じゃない、と思う人もいます。つらい子供時代を送ったある姉妹はこう言っています。「私はエホバを心から愛しています。でもエホバから愛されているかというと、自信が持てません」。では、エホバはどんな気持ちでいるでしょうか。

3 エホバはあなたのことを愛しています。そのことを確信してほしいと思っています。 ([エレミヤ 31:3](#) 遠くからエホバが私に現れて言った。 「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。 そ

のため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた(*あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた)のである。を読む。) エホバがあなたを引き寄せました。あなたは献身し、バプテスマを受けた時、エホバからかけがえのない贈り物を受け取りました。揺るぎない愛という、何があっても変わらない深い愛情です。エホバは心から仕える人を「宝のような所有物」と見ていて。あなたのこともです。(マラ 3:17 大軍を率いるエホバは言う。「私が特別な(*宝のような)所有物を生み出す日、彼らは私のものとなる。親が従順な子供を思いやるよう、私は彼らを思いやる脚注)パウロはエホバから愛されていることを確信していました。こう書いています。「私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、……神の愛から私たちを引き離すことはできません」。(ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません。) エホバはあなたにも、同じほど自分の愛を確信してほしいと思っています。この記事では、①エホバに愛されていると信じることが大切なのはどうしてか、②どうすれば信じられるかを考えます。

エホバから愛されていると信じるのが大切なのはどうしてか

4. どうすればサタンの策略にはまらずに済みますか。

4 エホバの愛を信じていれば、サタンの「策略」にはまらずに済む。(エフェ 6:11 悪魔の策略(*する賢い行為)にしっかりと立ち向かえるように、神からの武具を全て身に着けましょう。) サタンはエホバに仕えるのをやめさせるために、ありとあらゆる手を使ってきます。そういう策略の1つは、エホバが私たちを愛してなんかいない、といううそを信じ込ませることです。サタンはいつも隙(ズレ)を狙っていて、私たちが弱っている時に攻撃してきます。以前のつらい経験を思い出したり、大変な問題を抱えたり、先行きが不安になったりして気持ちが落ちる時に、特に力を入れて攻撃してきます。(格 24:10 苦難の時(*日)に落胆するなら、力が失われる。) サタンは、獲物が無防備な状態でいるところを見逃さないライオンのようです。私たちが落ち込んでいる時を見計らって、「もうだめだ、エホバに仕え続けることはできない」と思わせようとします。でも、自分がエホバから愛されていることを固く信じていれば、サタンの策略にはまったりせず、しっかりと「立ち向かって」いけます。(ペテー 5:8, 9 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探して)います。9 揺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています。ヤコ 4:7 ですから、神に従ってください。悪魔に立ち向かってください。そうすれば、悪魔は逃げ去ります。)

5. エホバに愛され、大事にされているという感覚を持つことが大切なのはどうしてですか。

5 エホバの愛を信じていれば、エホバとともに親しくなれる。どうしてそういえるでしょうか。人は、愛し愛されたいと思うものです。エホバがそう造ったからです。誰かから愛されていると感じると、その人を愛したいという気持ちになります。それでエホバに愛され大事にされている

と思うと、自分もエホバを愛したいと思うようになります。（ヨハ一 4:19 私たちが愛するのは、神がまず愛してくださったからです。）そして、私たちがエホバを好きになればなるほど、エホバももっと私たちのことを愛してくれます。聖書にもこう書かれています。「神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます」。（ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。）では、自分がエホバから愛されていると信じて疑わないために、どんなことができるでしょうか。

エホバの愛を信じるためにできること

6. エホバの愛を信じるためにどんなことを祈れますか。

6 **祈って自分の気持ちを何度も伝える。**（ルカ 18:1 イエスは弟子たちに、常に祈り、諦めてはならないことについて、さらに例えを話した。ロマ 12:12 希望によって喜びましょう。苦難に遭っても忍耐しましょう。粘り強く祈りましょう。）エホバに「あなたが見ているように、自分のことを見られるように助けてください」と祈れます。1 日に何度もそう祈れます。自分を責める気持ちが強過ぎて、エホバの愛を信じ切れないかもしれません。でもそんな時、思い出したいのは、エホバは私たちの心より大きいということです。（ヨハ一 3:19, 20 そのようにして、私たちは自分が真理から出ていることを確信し、神の前で安心(*心を納得させることができます。20 心に責められることがあっても安心できるのです。神は私たちの心より大きく(c*私たち以上に私たちのことを知っているということ), 全てのことを知っているからです。）エホバはあなたのことを見た自身よりもよく知っています。自分では気付いていないような良いところにも気付いてくれています。（サム一 16:7 しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」。代二 6:30 あなたが、住まいである天からお聞きになり、許し、それぞれの歩みに応じた報いをお与えになりますように。あなたは一人一人の心をご存じだからです。あなただけが人の心を知っておられます。）それで、ぜひ「気持ちを全て神に伝え」ましょう。（詩 62:8 民よ、いつでも神に頼れ。あなたの気持ちを全て神に伝えよ。神は私たちの避難所。）「あなたが愛してくれていることを信じられるようにしてください」と祈ってください。では、祈った後は何ができるでしょうか。

7-8. 詩編からエホバの優しい気持ちがどのように伝わってきますか。

7 **エホバが言っていることをそのまま受け止める。**聖書には、エホバがどんな方がが正確に描き出されています。ダビデは詩編の中で、エホバがどれだけ優しく気遣ってくれるかをこう書いています。「エホバは心が傷ついた人のそばにいる。落胆した人を救ってくださる」。（詩 34:18 エホバは心が傷ついた人のそばにいる。打ちのめされた(*落胆した)人を救ってくださる、脚注）落ち込んでしまうと、自分は独りぼっちだと感じるかもしれません。でもエホバは、そんな時こそそばにいると約束しています。どれほどつらい気持ちでいるかをよく分かっているからです。別の詩編でダビデはこうも書いています。「私の涙をあなたの革袋に集めてください」。（詩 56:8 私の放浪の歩みをあなたはよく知っています。私の涙をあなたの革袋に集めてください。あ

なたの書に記されている私の涙を。) 苦しんでいるあなたの姿を見て心から心配し、一緒に痛みを感じてくれます。旅人が革袋の水を一滴も失いたくないと思うのと同じように、エホバもあなたが流す涙の一粒一粒を集め、大切に覚えていてくれます。詩編 139 編 3 節 旅するのも横になるのも見ています(d*測ります)。私の全ての歩みをよく知っています。には「[エホバは]私の全ての歩みをよく知っています」とあります。エホバはあなたの全てを見ていますが、あなたのしている良いことに注目しています。(ヘブ 6:10 皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたりはされません。) エホバは、あなたがエホバに喜ばれようとしてすることを全部大切に覚えています。*エホバの優しい愛情が伝わってくる聖句をさらに知るために、「クリスチャンのための聖句ガイド」の「自信が持てない」のトピック(P72 ペテロ第一 1:18-19)参照。

8 そういう温かい聖書の言葉から、エホバの優しい気持ちが伝わってきませんか。まるでこう言ってくれているかのようです。「あなたのことを本当に愛している。とても大切に思っているんだよ」。先ほど考えたようにサタンは、エホバはあなたのことを愛してなんかいない、うそをついています。それでエホバに愛されているか不安になる時は、立ち止まってこう考えてみてください。「『うその父』と『真理の神』、どちらを信じたらいいだろうか」。(ヨハ 8:44 あなた方は、あなた方の父、悪魔から出ていて、自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで、真理から離れました。真理を好まないからです。彼にとって、うそを語るのは自然なことです。うそつきで、うその根源(d*父)だからです、脚注。詩 31:5 私は命(*生命力)をあなたの手に託す。真理の(*信頼できる)神エホバ、あなたは私を救って(d*買い戻して)くださいました。)

9. エホバを心から愛する人にエホバはどんな約束をしていますか。 (出エジプト記 20:5, 6)

9 エホバが愛にどう応えてくれるか、じっくり考える。エホバがモーセとイスラエル人に言ったことを考えてください。(出エジプト記 20:5, 6 それにひれ伏してはならず、誘われてそれを崇拜してはならない。あなたの神である私エホバは全くの専心を要求する神である。私を憎む人については、父の過ちに対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす。6 私を愛して私のおきてを守る人については、子孫千代にまで揺るぎない愛を示す。を読む。) エホバを愛する人を、エホバもずっと変わらずに愛し続けると約束しています。私たちの愛の気持ちを受け止め、必ず愛で応えてくれます。(ネヘ 1:5 私は言った。「天の神エホバ、あなたは偉大で威厳に満ちる神です。あなたを愛してあなたのおきてを守る人たちとの契約を守り、揺るぎない愛を示す方です。) エホバに愛されているか自信が持てない時は、こう考えてください。「自分はエホバを心から愛しているんじゃないだろうか。エホバを愛し、エホバに喜んでもらうためにベストを尽くしているなら、エホバに愛されていないはずがない」。(ダニ 9:4 私の神エホバに祈り、次のように告白をした。「真の神エホバ、あなたは偉大で威厳に満ちる方です。あなたを愛してあなたのおきてを守る人たちとの契約を守り、揺るぎない愛を示す方です。コリー 8:3 しかし、神を愛している人は、神に知られています。) あなたが間違なくエホバを愛しているなら、エホバもあなたを間違なく愛しています。エホバは私たちの愛に応えずにはいられない方だからです。

10-11. エホバは贖いのことをどう思ってほしいと願っていますか。 (ガラテア 2:20)

10 賖いという贈り物について考える。イエス・キリストの贖いは、エホバが人類に与えた最高の贈り物です。 (ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。) でも、エホバはあなたのためにもその贈り物を与えました。使徒パウロについて考えてみてください。パウロはクリスチャンになる前に大きな間違いをたくさんしましたし、その後も自分の弱さと闘わなければいけませんでした。 (ロマ 7:24, 25 私は実に惨めな人間です！こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるでしょうか。 25 私たちの主イエス・キリストを通して救ってくださる神に感謝します！) このように、私自身、考えにおいては神の律法の奴隸ですが、体(d*肉)においては罪の律法の奴隸なのです。 (テモ一 1:12-14 私は、力を授けてくださった主であるキリスト・イエスに感謝しています。私を忠実な者と見なし、奉仕する務めを与えてくださったからです。 13 以前は神を冒瀆し、神の民を迫害し、横柄だった私が、憐れみを示されました。当時は信仰がなく、よく知らずに行動していたからです。 14 私たちの主は惜しみない親切をあふれるほど豊かに示してください、私が信仰とキリスト・イエスからの愛を得られるようにしてくださいました。) そんなパウロも、エホバが自分のために贖いという贈り物を与えてくれたと思えるようになりました。 (ガラテア 2:20 私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きています(d*生きているのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命を、神の子への信仰によって生きています。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました。) を読む。) エホバはこの言葉を聖書に書かせました。私たちを教えるためです。 (ロマ 15:4 以前に書かれた事柄は皆、私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持っていられます。) この言葉から、エホバの温かい気持ちが読み取れます。エホバはあなたにも、贖いを自分のための贈り物と思ってほしいのです。贖いが本当に自分への贈り物だと思えるようになると、エホバが自分を愛してくれていると確信できるようになります。

11 エホバがイエスを地球に遣わしてくれたことに私たちは感謝しています。イエスが地球に来るのは、①命を犠牲にするため」だけではなく、②エホバについて本当のことを教えるため」でもありました。 (ヨハ 18:37 ピラトは言った。「それでは、あなたは王なのだな」。イエスは答えた。「その通りです。真理を明らかにする(*について証言する)こと、このために私は生まれ、このために私は世にきました。真理に従う人は皆、私の声を聞きます」。) エホバが私たちのことをどう思っているかについても教えました。

エホバの愛を信じられるよう、イエスが教えたこと

12. イエスがエホバについて教えたことに説得力があるのはどうしてですか。

12 イエスはエホバがどんな方かを教えました。 (ルカ 10:22 全てのものは父によって私に渡されています。子がどのような者かを知っているのは父だけであり、父がどのような方かを知っているのは、子と、子が進んで父を啓示する者たちだけです。) イエスの言葉には説得力がありま

す。 地球に来る前、天でとてもなく長い時間をエホバと一緒に過ごしていたからです。 (コロ1:15 神の子は、目に見えない神に似た者であり、全創造物の中の初子です。) イエスはエホバのそばで、エホバがひたむきに自分を思う子供たちをどれほど愛し、気に掛けているかを見ていました。では、イエスはエホバの愛についてどんなことを教えたでしょうか。

13. イエスはエホバのことをどう見てほしいと思っていますか。

13 イエスは、私たちにも自分と同じようにエホバを見てほしいと思っています。福音書でエホバのことを「父」と160回以上呼んでいます。弟子たちに話す時もエホバを「父」や「天の父」と呼んで、エホバが弟子たちのお父さんでもあることを教えました。 (マタ5:16 同じように、あなたたちの光を人々の前に輝かせなさい。そうすれば、人々はあなたたちの立派な行動を見て、天にいる父をたたえるでしょう; 6:26 鳥をよく観察しなさい。種をまいたり、刈り取ったり、倉に集めたりはしません。それでも天の父は鳥を養っています。あなたたちはそれよりも価値があるのではありませんか。) マタイ5章16節の注釈にはこうあります。「神に仕えたそれ以前の人たちは、エホバについて『全能の神』、『至高者』、『偉大な創造者』など、さまざまな高尚な称号を用いたが、イエスが『父』という簡単で日常的な言葉をよく使ったことは、神が崇拜者にとつて身近な存在であることを際立たせている」。イエスは私たちにも、エホバを子供思いの優しいお父さんと見てほしいと思っています。では、イエスが「父」という言葉を使った2つの例に注目してみましょう。

14. 私たち一人一人がエホバにとってかけがえのない存在だということを、イエスはどのように教えましたか。 (マタイ10:29-31) (挿絵も参照。)

14 まず、マタイ10章29-31節スズメ2羽は小額の硬貨1枚で売っていませんか。それでも、その1羽でさえ、天の父が知らないうちに地面に落ちることはありません。30 ところが、あなたたちは髪の毛まで全て数えられています。31 ですから、恐れることはありません。あなたたちはたくさんスズメより価値があるのです。にあるイエスの言葉について考えましょう。 (読む。) スズメはとても小さい鳥で、エホバを愛することも、崇拜することもありません。それでも天のお父さんエホバは、たった1羽のスズメが地面に落ちることも見逃しません。そうであれば、エホバを愛する人一人一人をもっと大切に思い、世話をしてくれるはずです。30節の「あなたたちは髪の毛まで全て数えられています」の注釈にはこうあります。「エホバはそのような細かな点まで熟知しているので、キリストの後に従う一人一人に強い関心を持っておられることを確信できる」。あなたたちはエホバにとってかけがえのない存在です。イエスは、そのことをぜひ信じてほしいと思っています。



エホバは小さなスズメ1羽が地面に落ちることも見逃さない。そうであれば、エホバを愛する人一人一人をもっと大切に思っているはず。 (14節を参照。)

15. ヨハネ6章44節のイエスの言葉から、エホバについて何が分かりますか。

15 イエスが「父」という言葉を使った別の例にも注目してみましょう。（ヨハネ6:44 私を遣わされた父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません。私はその人を終わりの日に復活させます。）お父さんエホバがあなたを優しく引き寄せてくれました。どうしてでしょうか。あなたの心を見て、正しい態度を持っていると思ったからです。（使徒13:48 異国の人々はこれを聞いて喜び、エホバの言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった。）ヨハネ6章44節の注釈によると、イエスはここでこの記事の主題聖句のエレミヤ31章3節遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた（あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた）のである。」に言及していたのかもしれません。次のような言葉です。「私は……揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた[または、「あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた」]」。（エレ31:3、脚注。ホセア11:4 親切の（d*人間の/c 親が子供に歩き方を教える時に使うような、という意味だと思われる）縄で、愛の綱で、私は彼らを導き続けた。彼らの首（d*頸アゴ）からくびき（*）を外してやり、それぞれに優しく食べ物を与えた。）と比較。）エホバはあなたを引き寄せた時からずっと、あなたの良いところを見ています。自分で気付いていないような良いところにもエホバは気付いています。

16. (ア) イエスはエホバを父と呼ぶことで、私たちに何と言っているかのうですか。イエスの言葉を信じられるのはどうしてですか。 (イ) エホバが自分にとって最高のお父さんだと確信するために何ができますか。（「私たち皆にとって最高のお父さん」の囲みを参照。）

16 エホバを父と呼ぶことで、イエスは私たちにこう言っているかのうです。(ア)「エホバは私のお父さんですが、あなたの父さんでもあります。お父さんはあなたのことを愛し、気に掛けています。私は自信を持ってそう言えます」。エホバから本当に愛されているのか信じられないとき、こう考えてください。(イ)「①お父さんエホバを誰よりもよく知っていて、②いつも本当のことを話すイエスがそう言っているなら、信じられるんじゃないだろうか」。（ペテー2:22 キリストは罪を犯さず、欺きを語ったこともありませんでした。）

「私たち皆にとって最高のお父さん」

「エホバに近づきなさい」の序文にはこう書かれています。「エホバが……私たち皆にとって最高のお父さんであることも分かるでしょう。エホバは誰よりも力が強く、公正で、知恵があり、愛情深く、子供たちを決して見捨てません」。

以前、父親からひどい扱いを受けていたある姉妹は、この本を読んだ感想をこう言っています。「今はもう『父親』という言葉を聞いても怖くありません。いい父親とはエホバのようなお父さんのことです。エホバは私を愛してくれています。そんなお父さんエホバが大好きです」。こんな感想を言った人もいます。「エホバ以上のお父さんはいません」。

エホバがあなたにとって最高のお父さんだと確信するために、この本(エホバに近づきなさい)を読んでみるのはどうでしょうか。

エホバから愛されていることを信じ続けてください

17. エホバから愛されていると信じ続けることが大切なのはどうしてですか。

17 エホバから愛されている、と信じ続けることはとても大切です。サタンはエホバに仕えるのをやめさせるために、どんな手でも使ってきます。自分はエホバに愛されてなんかいない、と思わせようとしてきます。サタンの手に決して乗らないようにしましょう。(ヨブ27:5 あなた方を正しいと認めるなど私には考えられない！私は死ぬまで忠誠を貫く(*忠誠心を捨てない)！)

18. エホバから愛されていることを信じるために何ができますか。

18 エホバから愛されていることを信じるために、何ができますか。①エホバに「あなたが見ているように、自分のことを見られるように助けてください」と祈れます。②エホバの愛が伝わってくる聖書の言葉を味わいながら読みましょう。③私たちの愛にエホバがどう応えてくれるか、よく考えましょう。エホバは愛の気持ちに、必ず愛で応えてくれます。④贖いが自分への贈り物だということを忘れないでください。⑤イエスが教えたように、エホバはあなたのお父さんです。そのことを信じましょう。」そうすれば、「エホバはあなたのこと愛していると思いますか」と尋ねられたとき、きっとこう答えるでしょう。「もちろんです！私ももっともっとエホバを愛していきたいです」。

何を学びましたか

1. エホバに愛されていると信じるのが大切なのはどうしてですか。

- ・S04 獲物が無防備な状態でいるところを見逃さないライオンのようなサタンの策略にはまったりせず、しっかり立ち向かっていける。
- ・S05 私たちがエホバを好きになればなるほど、エホバももっと私たちのことを愛してくれるので、個人的に親しくなることは大切。

2. エホバに愛されていると信じるために何ができますか。

- ・S06 自分のことを自分よりもよく知っているエホバに祈って、自分の気持ちを日に何度も伝える。特に「自分をあなたが愛してくれていることを信じられるようにしてください」と祈れる。
- ・S07-08 聖書でエホバが言っていることをそのまま受け止め、エホバの優しさや気遣いを感じるようにする。
- ・S09 エホバが私たちの愛にどう応えてくれるかをじっくり考え、エホバが私たちの愛に応えずにはいられない方であることを良く理解する。
- ・S10 賦いというエホバが人類に与えた最高の贈り物を、自分のための贈り物でもあることを理解する。

3. エホバの愛を信じられるよう、イエスはどんなことを教えましたか。

- ・S13 イエスは、私たちにも自分と同じようにエホバを見てほしいと思って、エホバのことを「父」と表現した。神が崇拜者にとって身近な存在であることを際立たせ、子供思いの優しいお父さんと見てほしいと思っていたことが分かる。
- ・S14 エホバが小さなスズメ1羽が地面に落ちることも見逃さないのであれば、エホバを愛する私たち一人一人をもっと大切に思っているはずであることを教えた。
- ・S15 お父さんエホバは、あなたの心を見て、正しい態度を持っていると思い、私たち一人一人を優しく引き寄せてくださった。そしてその時からずっと、自分で気付いていないような良いところも見てくれている。

154 番の歌 愛は決して絶えない

△ エホバの優しい愛情が伝わってくる聖句をさらに知るために、「クリスチャンのための聖句ガイド」の「自信が持てない」のトピックをご覧ください。

△ (エレ 31:3) 遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた*のである。

または、「あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた」。

△ (マル 12:30) あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ』。

△ (エレ 31:3) 遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた*のである。

または、「あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた」。

△ (エレ 31:3) 遠くからエホバが私に現れて言った。「私は永遠の愛をもってあなたを愛してきた。そのため、揺るぎない愛をもってあなたを引き寄せた*のである。

または、「あなたに揺るぎない愛を示し続けてきた」。

△ (マラ 3:17) 大軍を率いるエホバは言う。「私が特別な*所有物を生み出す日、彼らは私のもとのとなる。親が従順な子供を思いやるように、私は彼らを思いやる。